

1

次の【博物館のちらし（表）】と【博物館のちらし（裏）】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【博物館のちらし（表）】

暮らしの中の 伝統文化展



2016年 5月21日(土) - 6月19日(日)

開館時間 : 午前9時30分～午後5時

休館日 : 月曜日

入館料 : 一般300円 大学生・高校生200円
中学生以下無料

第2期:「和紙の世界」6月25日(土)～7月24日(日)

第3期:「織物の世界」7月30日(土)～8月28日(日)

草木市立博物館

〒900-9859 草木市南町7

電話 000-123-xxxx

<http://www.hakubutsukan.xx.jp>

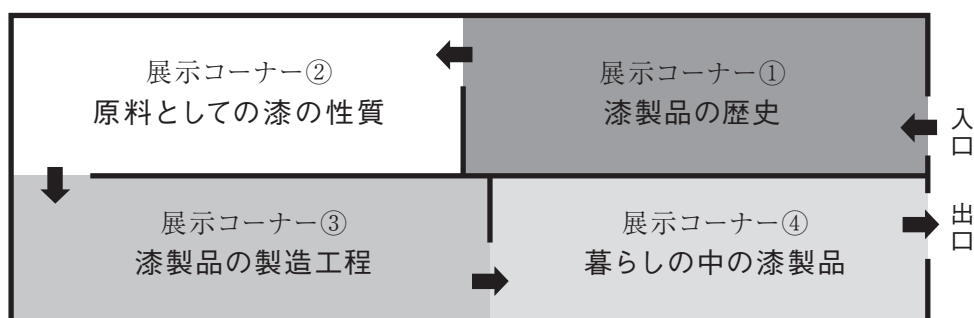
「伝統文化」というと遠い存在のように感じられますが、実は今の暮らしの様々なところに息づいています。

「暮らしの中の伝統文化展」の第1期は、「うるしの世界」を取り上げます。私たちの暮らしの中にある漆のよさを実感してみませんか。

うるしの世界

おわんや重箱などに代表される漆製品は、優美だけでなく、丈夫で長持ちする実用性の高さも兼ね備えており、私たちの暮らしの中で育まれてきたものです。

展示内容（1階展示室）



関連イベント

～漆製品を使ってみよう～

漆の器とスプーンでアイスクリームを味わいます。また、使用後の手入れの仕方も体験できます。漆の器の美しさや手触りのよさなどを感じてみませんか。

日時：開催期間中の土曜日

午後3時～午後4時

場所：1階特別室

定員：20名（無料・当日受付）

～職人の技を見てみよう～

この道30年の職人による漆塗りの実演を見ることができます。交流する時間もありますので、伝統を受け継ぐ職人としての思いなどを直接聞いてみませんか。

日時：開催期間中の日曜日

午前10時～午前11時

場所：1階ホール

定員：50名（無料・当日受付）

一 【博物館のちらし（表）】と【博物館のちらし（裏）】から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 漆、和紙、織物などの日本の伝統文化は特別なものではなく、現在の生活とつながりがあると知ってもらうこと。
- 2 日本の伝統文化の代表である漆、和紙、織物を同時に展示し、それぞれの特徴を比較してもらうこと。
- 3 国内の各地で漆、和紙、織物の順で生まれ、発展してきた日本の伝統文化の歴史的な背景を理解してもらうこと。
- 4 世界の優れた職人の手によって作り出された漆、和紙、織物などの高級品の数々を鑑賞してもらうこと。

二 【博物館のちらし（裏）】にある関連イベントの「〓職人の技を見てみよう〓」に参加することができる日付として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 二〇一六年五月二十一日
- 2 二〇一六年五月二十二日
- 3 二〇一六年五月二十三日
- 4 二〇一六年五月二十四日

